

確かな収穫へと導く 2つの力



ルーチン® デュオ 箱粒剤

- は種前から移植当日まで、
箱でいつでも使えて、
本田で長く効く、安心の2成分
- いもち病防除の新定番「ルーチン®」と
初期害虫およびチョウ目害虫に優れた
効果を示す**新規殺虫剤**
「シアントラニリプロール」を配合



慣行播種
箱当り
50g

高密度播種
箱当り: 50~100g
(1kg/10aまで)

製品情報の
詳細は
こちらから



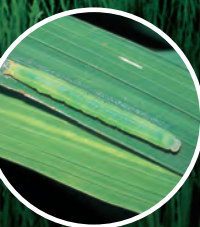
いもち病



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ



フタオビコヤガ

箱でいつでも使えて、本田で長く効く、安心の2成分。

ルーチン® デュオ箱粒剤

農林水産省登録 第23571号
●成分：シアントラニプロール…0.75% 殺虫剤分類 28
 イソチアニル……………2.0% 殺菌剤分類 P3
●性状：類白色細粒
●毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

ルーチン® デュオ箱粒剤の特長

●いもち病と水稻害虫に優れた効果 ……

●幅広い使用時期 ……

●イネに対する安全性が高い ……

●高密度播種の場合、50~100g/箱で処理可能 ……

水稻で問題となる主要な病害虫を幅広く防除します。
は種前から移植当日までの間、いつでも使用可能です。
薬害が生じるリスクが低いことが確認されています。
※ただし10a当りの処理量は最大1kg/10aです。

適用病害虫および使用方法

2021年12月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使 用 量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	1kg/10a	移植時	本剤：1回 シアントラニプロール：1回 イソチアニル：3回 (直播での場合は種時または移植時までの処理は1回、本田では2回)	側条施用
稲 (箱育苗)	いもち病、白葉枯病 もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ コブノメイガ、イナゴ類 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネヒメハモグリバエ ヒメトビウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本剤：1回 シアントラニプロール：1回 イソチアニル：3回 (移植時までの処理は1回、本田では2回)	育苗箱の床土 又は覆土に 均一に 混和する
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)			育苗箱の 上から均一に 散布する
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)			
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土 又は覆土に 均一に 混和する
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)			育苗箱の 上から均一に 散布する
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前)		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)			

* 印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

●本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用して下さい。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。

●育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植して下さい。

●育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。

●側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用して下さい。

●ヒメトビウンカに対しては残効性に注意して下さい。

●軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。

●本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。

●いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないして下さい。

●きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。

●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●誤食などのないように注意して下さい。

●かぶれやすい体質の人は取扱に十分注意して下さい。

●水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。

●散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。

●直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

★播種同時施薬機や田植同時施薬機で使用する場合は、農機販売会社に本剤の使用に関して確認をして下さい。また、散布量の調整を実施したうえで使用して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。